

新型コロナウイルス感染症への対応

2月10日、国はマスク着用の考え方を次のように見直しました。

「マスクの着用を推奨している現在の取扱いを改め、行政が一律にルールを決めるのではなく、個人の判断に委ねる」という内容です。

一方で「マスクの着用が効果的である場面などを示し、一定の場合にはマスクの着用を推奨する」としています。

このことを踏まえ、当センター建物内での会議、講習会などの活動、センター及び地区で行う屋内の行事やイベントについては高齢者の団体であることから、今暫くの間マスクの着用を基本とします。

皆さまのご理解と「うつらない、うつさない」の感染防止対策をよろしくお願いいたします（理事会）

●安全・適正委員会からのお知らせ● シルバーの重点テーマは「健康」と「安全」

安全

★4月から年齢を問わず、
自転車の運転時、『ヘルメット着用』が
努力義務化されます。

【自転車利用五則を守りましょう】

1. 原則車道を走行、左側通行
2. 交差点、信号、一旦停止を守る
3. 夜間はライト点灯
4. 飲酒運転禁止
5. ヘルメット着用
(安全・適正委員会)

***くれぐれも、
安全運転を
心がけましょう！**

シルバー車両、
ラッピング
しました!!

2月末の 事業実績 ※()は昨年比	● 会員数：2,277人(+37人)
	● 事業高累計 (含 派遣)：634,322千円(-33,974千円)
	● 就業実人員 (含 派遣)：1,751人(-11人)

「フレイル講座」開催！



2月21日センターにて、西宮市保健所の吉井保健師をお迎えし、『その衰え、本当に年のせい？フレイル予防と健康長寿』と題してフレイルを学びました。

体重の減少・歩く速度の低下・週1回以上の運動をしていない・疲れやすい・ペットボトルの蓋が開けられないなどをチェックし、自分自身のフレイル度の確認をしました。

ポイントは①食事、②運動、③お口の健康、④社会参画。特に社会との繋がりが無くなるとフレイルの入り口になるそうです。

(イベント推進委員会)

「新入会員交流会」開催！

2月20日、センターにて『新入会員交流会』を開催。ヤクルト販売(株)広報課の方によるセミナー『フレイル予防』では、「今日あった小さな幸せを10個思い出してみる」など、自分でできる予防法を教えていただきました。



話し合いや相談を交えて楽しい時間を過ごし、参加会員からは有意義で参考になったと感想をいただきました。

次回は5月に、令和5年1月~3月入会の会員の方へ案内を送付しますので、ぜひご参加ください。

(会員増強委員会)

センター 無事故 継続日数	● 就業中：84日
	● 就業途上：37日
	(2023年2月28日現在)



就業現場風景



【私のお仕事】
M.S 会員 (鳴尾地区)

【センター封入封緘業務】

毎月センターから送られてくる「月報」「お仕事案内」「配分金明細書」などの文書を封入するお仕事です。

5名の会員で約2,300人分の封入封緘を行っています。会員ごとに送付する文書の枚数が違うので大変緊張しますが、間違いがないよう事務局と他のメンバーとで二重のチェックを行い、約6時間をかけて全会員分を封入します。

初めの頃は同じ物が入っていると指摘を受けたこともありましたが、メンバーで工夫して問題が起こらないように頑張っています。目立つ存在ではありませんが、会員全員に間違いなくお届けできていることにやりがいを感じています。

●地区コーナー①

甲東地区

門戸厄神 東光寺



「厄神さん」。お寺なのに門戸厄神と付いているのは、昔から本殿の裏手に高安稲荷大明神を祀る鳥居があり、現在まで引き継がれているため。

正月の三が日と18・19日の大祭や土・日に「ろうそく・線香の授与販売」があり、地区のシルバー会員が二人一組でお寺の法被を羽織り、参詣客に対応しています。その就業につくことにより、日本人の神仏祈禱に対する畏敬の念を感じ、信じることの意味を再考させられます。

線香を3本供えるのは「仏・法・僧」や「過去・現在・未来」、転じて「ご先祖様・ご当主様・ご子息」を表し、それぞれの安穩を祈念するのだそうです。(注:真言宗の場合)

今年こそ世界中から争いごとがなくなり、良い年となるよう祈念します。(甲東地区 K.Y会員)

事務局からのお願い

●就業中はセンターの代表。
緊張感を持って臨みましょう。

日々就業で頑張っておられる会員の皆さまには感謝申し上げます。

多くの発注者の方から「よく頑張っていたいです」「シルバーさんに頼んで良かった」などお褒めの言葉もいただいています。しかしながら、「あの会員さんの言葉遣いはちょっと困ります」「挨拶ができていない」といった声も聞くことがあります。

ごく一部の会員ですが「ぞんざいな口の利き方で挨拶もできていない」「発注者の言われた仕事もできていない」と言うものです。口の利き方は気持ちの持ちよう一つで直るものです。

就業中は、いつもセンターの代表で見られていると思って誇りを持った態度で臨んでください。シルバーの一員として仕事をしている重みを感じ、緊張感を持って就業しましょう。(事務局)

西宮の文学散歩③

「ニテコ池」



西宮を代表するさくらの名所

作家・野坂昭如が神戸空襲の後、一時西宮の親類宅に預けられた実体験がモデルになった小説『火

垂(ほたる)の墓』。1967年に発表され、「直木賞」を受賞。1988年にはアニメ映画化もされました。

物語の中で清太と節子の2人が懸命に暮らしていた「ニテコ池」の辺りには、かつて防空壕があり、独特の形をした「給水塔」が、ホタルの光で浮かび上がるシーンは、印象的でした。

この「給水塔」は、我が国の産業近代化の過程を物語る存在として「近代化産業遺産」に登録されています。また、『火垂るの墓』記念碑が、震災記念公園の一角にあります。

(広報委員会)